

他都市の事例

①2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピックの開催にあたって、ロンドン市とイギリス政府はレガシー・プランとアクション・プランを策定しています。

ロンドン市のレガシープラン

- ロンドン市民がスポーツする機会を増やす
- ロンドン市民の新たな雇用、ビジネス、ボランティアの機会を増やす
- イーストロンドン中心部の変革
- 持続可能な大会の実現と持続可能な地域社会の発展
- ロンドンを多様性、創造性、おもてなしのショーケースにする

イギリス政府のアクションプラン

- イギリスを世界有数のスポーツ大国に
- ロンドン東部地域を再開発
- 若者世代を活性化
- オリンピックパークを環境に配慮した持続可能な生活モデル地域に
- イギリスの創造性、協調性、生活・観光・ビジネスのしやすさを世界にアピール

大会開催後の2013年に政府とロンドン市の共同報告書が出され、オリンピック・レガシーの成果を取りまとめています。

【2012年ロンドンオリンピック・パラリンピックのレガシーの成果】

スポーツ 健康生活	<ul style="list-style-type: none"> • スポーツ選手への助成増強(13%増) • 運動(週1回)する人の増加(140万人以上) • 学校スポーツへの1.5億ポンド/年の助成(2013年以降) • スポーツ国際交流(20カ国1500万人の参加)
イースト ロンドンの再生	<ul style="list-style-type: none"> • オリンピックパーク・施設の整備 • 交通整備への投資(65億ポンド) • 1万1000戸の住宅整備、1万人の新規雇用創出
経済成長	<ul style="list-style-type: none"> • 280~410億ポンドの経済効果 • 62~90万人の雇用創出(2020年まで) • 失業者への雇用創出(7万) • 2014年ワールドカップ、2016年リオ五輪に向けた新規契約の獲得(1.2億ポンド) • 観光客増(1%)、観光消費増(4%)
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> • ボランティア意欲向上、参加者の増加 • 10万人の新規ボランティア(2013年) • 文化プログラムへの参加(4300万人) • 環境配慮
パラリンピック	<ul style="list-style-type: none"> • 障がい者のスポーツ参加向上 • パラリンピック支援助成の増加 • 交通、社会インフラにおけるアクセス性の向上

参考:一般社団法人自治体国際化協会

②2018年平昌冬季オリンピック・パラリンピック(韓国)

平昌は、2003年大会と2007年大会に立候補したが失敗し、2011年大会によりやく悲願の冬季五輪の誘致に成功しました。

○平昌オリンピック・パラリンピックのレガシー

【施設・インフラ整備】

- 6つの施設の新設、6つの施設の改修に約885億円を投入
- ソウルから江陵までの200kmの高速鉄道に、約1兆1000億円を投入

【平昌オリンピック・パラリンピックの効果】

- 経済的波及効果は41兆ウォン(約4兆円)以上と推定
- 国民の約8割から「成功したオリンピック」と評価
- 開催地では、高速鉄道、高速道路の開通により、首都圏からのアクセスが良くなったほか、優良な宿泊施設の拡充や観光インフラが改善されたことにより、観光は大会終了後も好調

○大会後の課題

- 平昌オリンピック・パラリンピックでは、アイスホッケー場とカーリング場(既存の施設を補修)以外、施設が新設されたものの、大会後の利用計画がなく、大会終了後の課題となっている。
- 滑降、スーパー大回転などの競技会場は、原生林を伐採して整備するため、自然復元を主張する自然保護団体と観光的利用を主張する住民とが対立している。
- 約110億円を投じたオリンピックスライディングセンター(ボブスレー、リュージュ、スケルトン)一は、維持管理費がかかるために閉鎖した。

③2016年リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック(ブラジル)

2016年リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックは、開催費用は総額約120億ドル(約1兆3000億円)となっている。

○リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックのレガシー

【大会の効果】

- 公共交通機関、競技施設、大会関連施設などの建設と整備によって、新たな雇用が生まれた。
- オリンピック期間中、リオ市内のホテルの客室占有率は94%に達し、飲食業の売り上げは45%程度増え、一定の経済効果があった。
- 当初低調だったチケット販売は、開幕直前になって販売が急伸し、オリンピックのチケット総数は約95%、パラリンピックのチケット総数の約80%を販売。チケット収入が13億リアル(約403億円)に達した。

【インフラ整備】

- 地下鉄、BRT(バス高速輸送システム)、路面電車VLT(ライトレール)が、市内の渋滞緩和にも大きく貢献した。

【NGOとオリンピック選出の輩出】

- NGOなどの社会プロジェクトの一環として、貧民街から金メダリスト選手を輩出し経済的に恵まれない家庭出身の青少年や彼らを支援する取り組みが行われた。

○大会後の課題

- ゴルフ場や第3、第4アリーナなどの施設は、管理運営や維持が困難になり、活用が進んでいない。
- オリンピック・パークの主要施設、デオドロ地区のカヌー(スラローム)と自転車競技(BMX)の会場は、オリンピックレガシー管理局や民間のNGOが引き継ぎ、スポーツや社会文化活動の拠点として利用されている

参考:平成28年10月 リオデジャネイロ2016 オリンピック・パラリンピック競技大会視察報告
東京オリンピック・パラリンピック準備局

子どもワークショップの結果

④2014年ソチ冬季オリンピック・パラリンピック(ロシア)

2014年ソチ冬季オリンピック・パラリンピックに向けて、ロシア政府は、五輪史上最高の約5兆円を投入し、施設や交通インフラを整備した。

○ソチオリンピック・パラリンピックのレガシー

【効果を上げたテロ対策】

- ・ テロ対策にも巨額の予算を投入し、来場者には、個人情報の登録で取得できる「観戦者パスポート」の携帯を義務付け、軍、情報機関などから計7万人を緊急動員したため、運営面では大きなトラブルもなく、テロ対策は効果をあげた。

【ソチオリンピック教育プログラム(パラリンピック意識向上プログラム)】

- ・ パラリンピックやその価値について意識を高めてもらうためのプログラムを実施した。
- ・ ロシア国内にあるバリアフリー環境を備えたスポーツ施設14,000カ所以上(2014年3月時点)に登録したアクセシビリティ・マップというプログラムがつけられた。
- ・ 全国のパラリンピックのアスリートの成功を広く社会に紹介し、ロシア国内で障がいのある人々に対し、パラリンピックのスポーツがどれだけ生活を変化させ、豊かにするかを示し、パラリンピック・ムーブメントをつくった。
- ・ 「ソチ 2014 レガシー」を見据え 5 万人以上の生徒を対象に、ボランティア、サービス、環境、バリアフリーなどをテーマに、1500 以上の授業がロシア内 30 の地域で行われた。

【ボランティアの文化の醸成】

- ・ ソチでは史上初めて競技会場周辺に「ボランティア村」が開設された。
- ・ 居住地からボランティア村までの交通費は、各ボランティアセンターが全額、または半額～3割ほどを負担した。
- ・ オリンピック・パラリンピックの開催を機に、「ボランティア」という新しい精神と文化を育まれ、「ボランティア文化が、ソチ大会の遺産」となった。

- ・ 開催日:2019年9月1日(日) 13時30分～16時30分
- ・ 場所:大倉山ジャンプ競技場 本部棟会議室
札幌オリンピックミュージアム
- ・ 参加者:市内の小学生(5年生・6年生)・31名

子どもたちの主な意見

「こんな大会になるといいな」

- ・ オリンピック・パラリンピックを通じて札幌が世界に注目されるような大会
- ・ みんなが楽しく明るく笑顔あふれる大会
- ・ 人種に関係なくみんなで競い合える大会
- ・ 障がいのある人が快適に過ごすことができる大会
- ・ 外国の人も楽しめる大会
- ・ 自分らしさを表現できる大会
- ・ 自然を大切にしたい大会
- ・ 自然の音でできる大会
- ・ 小学生が自分も選手になりたいと思える大会

「パラリンピックを広めたい」

- ・ もっとパラリンピックを広めたい
- ・ パラリンピックもオリンピックと同じぐらい知ってもらいたい
- ・ パラリンピックの良さや凄さをもっとテレビで放送してほしい
- ・ パラリンピックに出場する選手が札幌に住めるように工夫したい
- ・ 手話など普及させたい

「ウィンタースポーツを盛んにしたいオリンピックに出たい」

- ・ スキージャンプなどを無料で体験できる仕組みがあるとよい
- ・ オリンピック・パラリンピックの種目を体験できる施設をつくる
- ・ スキージャンプでオリンピックに出場したい
- ・ ノルディック複合(コンバインド)の選手になりたい
- ・ オリンピックで金メダルを取りたい
- ・ もっと選手を増やすことが必要です
- ・ もっと多くの人に見に来てもらいたい

「おもてなし・助け合いを大切にしたい」

- ・ 外国人がこまらなないようにおもてなしをしたい
- ・ 札幌に安心して滞在していただけるようにする
- ・ 市民が道案内ができるようにする
- ・ 市民が英語や外国語をもっと話せるようにする
- ・ 訪れた選手にメッセージが流れるようにする
- ・ 訪れた人に札幌を紹介できるようにする
- ・ 訪れた人が思い出を残せるノートや仕組み
- ・ 外国人向けのホテルを充実させる
- ・ 市民が民泊やゲストハウスでおもてなしをする
- ・ 病院を充実させる
- ・ 外国人向けのパンフレットを配布する



「大会の開催に合わせてこんなことが必要」

- ・ 札幌のことを紹介する施設や仕組み
- ・ 札幌の美味しいものを知ってもらう仕組み
- ・ 美味しいものが食べることができるレストラン
- ・ ビールや日本酒を紹介できるイヤホン
- ・ 外国人に分かりやすい札幌の地図
- ・ 日本のルールを知ってもらう仕組み
- ・ 日本語を学べる施設
- ・ ゴミのポイ捨てなどが無い快適な環境

「こんな札幌になっているといいな」

- ・ 大会を通して色々な施設が充実している
- ・ オリンピック・パラリンピックでも混雑しない
- ・ 地下鉄のループ化で会場に行きやすくなって
- ・ 乗り換えがしやすい交通機関がある
- ・ 新幹線でもお客さんが来ている
- ・ 歴史的な建物も大切にしている
- ・ 災害が来ても安心なまち
- ・ バリアフリーが充実している
- ・ 外国語表記が充実している
- ・ 点字、英語表記、音声案内など様々な案内が
- ・ ピクトグラムを多くする